

幌別小学校保護者の皆様

登別市立幌別小学校長

柴田 政人

令和5年度全国学力学習状況調査の本校の結果について(ご報告)

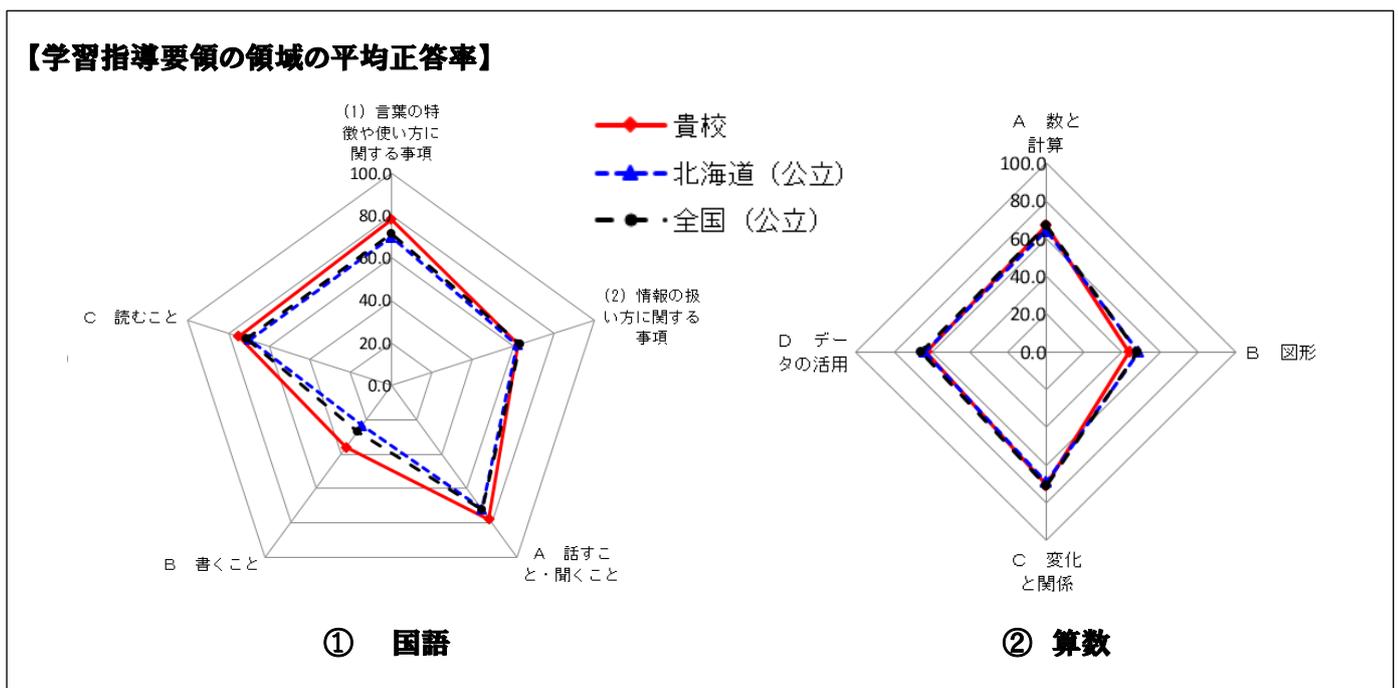
霜寒の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動に対しまして、多大なるご理解とご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

本年4月18日に実施されました令和5年度全国学力・学習状況調査の本校児童の学習状況の傾向等について分析いたしましたのでご報告いたします。

1. 傾向について

○本校児童の得意・不得意の傾向は、全国・全道と同じ傾向にある。

以下のチャート①～②は、今年度の全国学力学習状況調査の『学習指導要領の領域の平均正答率の状況』を表したものです。



赤線の本校の平均正答率と全道・全国の平均正答率のチャートの形を比べてみると、ほぼ同じ形をしていることが分かります。これは、「得意としている領域」と「不得意としている領域」は、「本校」と「全道・全国」ではほぼ同じ傾向です。言い換えれば、「本校の児童のみが苦手としている領域はない」と言えます。

2. 国語について

○ほとんどの領域において、全国平均正答率を上回ることができた。

○「情報の扱い方に
 関する事項」のみ、全道平均を上回り、全国平均を下回った。

本校において、正答率の低かった問題が2つあります。(この問題は、全道・全国においても正答率が低かったです。)

- ① 図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる問題。
- ② 情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができるかどうかをみる問題。

国語問題①【図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する問題】

※上の原稿用紙は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましょう。
 ※◆の印から書きましょう。とちゅうで行を変えないで、続けて書きましょう。

【カード④】

7月20日

【農家の石山さんのお話】

- ・雑草に栄養をとられると、米のしゅうかくが減る。
- ・雑草が多いと、いねが病気になることがある。
- ・農家は、さまざまな方法で雑草が生えないようにしている。

【カード⑤】

7月21日

【学校でできる解決方法】

- ・雑草取りの回数を増やす。
- ・雑草取りの人数を増やす。

- (条件)
- 学校の米作りの問題点については、「川村さんの文章」のグラフ(農家の田んぼと学校の田んぼの雑草の量)と「カード④」のそれぞれから分かることを書くこと。
 - 問題点の解決方法については、「カード⑤」をもとにして書くこと。
 - 六十字以上、百字以内にとめて書くこと。

【川村さんの文章】

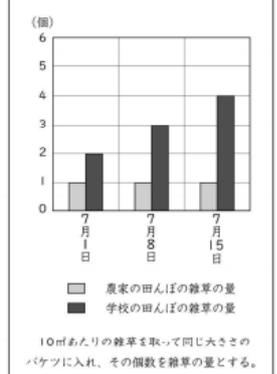
学校の田んぼで取り組んだ米作りの問題点とその解決方法

今年の米作りでは、たくさんのお米をしゅうかくすることができました。しゅうかくまでに、いくつかの問題がありました。中でも特に伝えたい問題点とその解決方法について説明します。

5月下旬に学校の田んぼになえを植えました。6月の終わりまで、週に1回、グループの3人で雑草取りを続けたのですが、ア**い**がいに雑草が生えてきて、とてもこまりました。そこで、雑草の量について、農家の田んぼとイ**く**らべてみました。ウ**き**かんは7月1日から15日までです。

右のグラフは、その結果をもとにして作ったものです。

農家の田んぼと学校の田んぼの雑草の量



このようなことに取り組み、9月の下旬にお米をしゅうかくすることができました。

この問題は、①～④のことが必要になります。

- ① グラフから分かること。
- ② 別ページの【カード④】から分かること。
- ③ 別ページの【カード⑤】の解決方法を取り入れること。
- ④ 字数制限を守ること。

本校の児童の誤答が多かったのは、【カード④】から分かることが記述から抜けてしまっていて不正解となるパターンで14名でした。文とグラフを結びつけて考えることが難しかったものと思われます。

国語問題②【情報と情報との関係付けの仕方を確かめる問題】

三 相田さんは、食事の面から健康について考えている友達の話の話を聞いて、「資料3」に興味をもちました。次は、相田さんが、四角や丸で囲んだり線でつないだりして整理している「資料3」です。相田さんは、何をどのように整理していますか。その説明として最も適切なものを、あとの1から4までのの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

【資料3】相田さんが書きこみをしたパンフレットのページ

栄養素の働き

規則正しく食事をとることにより、脳が活発に働いたり、元気に運動したりすることができます。ただし、同じものや好きなものばかり食べていると、栄養がかたよってしまい、つかれやすくなったりいらいらしたりします。

食品は、栄養素の主な働きによって、下のように、主に三つのグループに分けることができます。

米やパンなどは、主にエネルギーのもとになります。

肉や卵などは、主に体をつくるもとになります。筋肉がついたり、けがが治りやすくなったりします。

野菜や果物などは、主に体の調子を整えるもとになり、病気にかかりにくくなります。

〈栄養素の主な働きと食品の例〉

<p>主にエネルギーのもとになる</p>  <p>主に体をつくるもとになる</p>  <p>主に体の調子を整えるもとになる</p> 	 <p>米、パン、バターなど</p>  <p>肉、卵、牛乳など</p>  <p>野菜、果物など</p>
--	--

- 1 自分にとって分からない言葉を四角や丸で囲み、運動と栄養素の働きとの関係を線でつないで整理している。
- 2 自分にとって重要な言葉を四角や丸で囲み、食品と栄養素の働きとの関係を線でつないで整理している。
- 3 自分にとって分からない言葉を四角や丸で囲み、食品と栄養素の働きとの関係を線でつないで整理している。
- 4 自分にとって重要な言葉を四角や丸で囲み、運動と栄養素の働きとの関係を線でつないで整理している。

この問題の正解（「4」）を選んだ児童は20名、不正解の（「2」）を選んだ児童は17名でした。

資料3に書き込まれている線の意味は理解できているようです。では、○で囲まれている言葉は、「分からない言葉」なのでしょうか。「重要な言葉」なのでしょうか。下のイラストで描いて説明している部分と合わせて考えてみるといいのです。すると○で囲まれた言葉は、「わからない言葉」にはならないはず。

文だけを読み取るのではなく、一緒に示されているグラフやイラストを共に読み取ることが、資料を活用するうえで大切なこととなります。

3. 算数について

- ほとんどの領域において、全国平均正答率と同等または上回ることができた。
- 「図形」の領域のみ、全道・全国の平均を下回った。

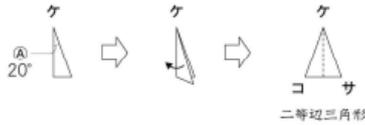
本校において、正答率の低かった問題が2つあります。（この問題は、全道・全国においても正答率が低かったです。）

- ① 正三角形を作るためには、角の大きさを何度にすればよいか答える問題。
- ② 二つの三角形の面積の大小を比べる問題。

ゆいさんとわたるさんは、【えいたさんのつくり方】の③の図で、下の④の角の大きさをそれぞれちがう大きさにしました。



私は、④の角の大きさを 20° にしました。切って開いた三角形ケコサは、二等辺三角形になりました。



私は、切って開いた三角形を正三角形にするために、④の角の大きさをゆいさんとちがう大きさにして切りました。

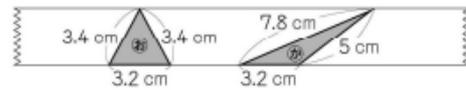
切って開いた三角形を正三角形にするには、④の角の大きさを何度にするればよいですか。

答えを書きましょう。

算数問題①

【正三角形を作るために、角の大きさを何度にするればよいか答える問題】

(4) えいたさんたちは、テープを直線で切って、下のような⑤と⑥の2つの三角形をつくります。



上の⑤と⑥の三角形の面積について、どのようなことがわかりますか。

下の 1 から 4 までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

また、その番号を選んだわけを、言葉や数を使って書きましょう。

- 1 ⑤の面積のほうが大きい。
- 2 ⑥の面積のほうが大きい。
- 3 ⑤と⑥の面積は等しい。
- 4 ⑤と⑥の面積は、このままでは比べることができない。

算数問題②

【二つの三角形の面積の大小を比べる問題】

算数問題①についてですが、「正三角形の角 = 60° 」という知識は、子どもたちの多くは持っていたようです。しかし、図をみると正三角形の角を半分に分けた時の角の大きさについて解答を求められています。「正三角形は 60° 」の言葉で止まってしまうと正しい解答にはたどり着けません。この問題では「 60° 」と誤った解答になった児童は12人でした。

算数問題②についてですが、「三角形の面積 = 底辺 \times 高さ $\div 2$ 」という知識は、子どもたちの多くは持っていたようです。しかし、底辺に対する高さ（底辺に対して垂直な場所）がどこを指しているのかがわからなかったようです。誤答の一番多かったものは、「高さがわからないから、面積を比べられない」で、8人の児童でした。

ここで大切なのは、「算数用語を正しく理解し、使いこなせるようになること」だと考えます。

4. 「児童質問紙」から見る児童の生活習慣

(1) 基本的な生活習慣について

質問内容	本校児童	全国平均	傾向等
朝食を毎日食べている (肯定的回答)	97.4%	93.9%	・「朝食を食べる」習慣は、身につけている児童が多い。 ・早寝早起きなどの「睡眠習慣」に課題。
毎日同じぐらいの時刻に寝ている (肯定的回答)	73.7%	81.0%	
毎日同じぐらいの時刻に起きている (肯定的回答)	89.5%	90.5%	

(2) 家庭での学習習慣について

家で自分で計画を立てて勉強をしていますか (学校の授業の予習や復習を含む・肯定的回答)	97.4%	70.7%	・これまでの取組を通して、家庭での学習の習慣が身に付いてきている。
学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれぐらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む) → 1時間以上	84.2%	57.1%	

土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む) → 1時間以上	63.3%	52.5%	
--	-------	-------	--

(3)新聞・読書について

学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか(電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く) → 1時間以上	21.1%	18.5%	<ul style="list-style-type: none"> ・日常から活字に触れる機会が多い児童が全国平均を上回っているが、さらにこの割合を増やしたい。 ・本を読むが好きな児童が多い。
新聞を読んでいますか。→週3日以上	23.7%	12.6%	
読書は好きですか。→肯定的回答	81.6%	71.8%	

(4)いじめについて

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。(肯定的回答)	97.4%	96.9%	100%を目指していきたい。
--------------------------------------	-------	-------	----------------